

会 議 録 (概要)

会議の名称	平成 30 年度 第 1 回 男女共同参画推進懇談会
開催日時	平成 30 年 7 月 10 日 午前 10 時から 11 時 30 分
場所	佐渡市役所 第 2 庁舎 第 7 会議室
議題	(1)平成 30 年度男女共同参画事業について (2)佐渡市男女共同参画推進懇談会参加者の公募について (3)女性活躍推進法に基づく協議会設置に係る概要説明、協議 (4)男女共同参画推進セミナー (5)その他
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	有識者 5 名、公募参加者 1 名 事務局：企画課 課 長 岩崎洋昭 課長補佐 中川裕二 政策推進係 主任 松本亜沙美
会議資料	資料No.1 平成 30 年度男女共同参画事業 資料No.2 佐渡市男女共同参画推進懇談会参加者の公募について（報告） 資料No.2-1 佐渡市男女共同参画推進懇談会参加者の公募に関する要綱 資料No.3 女性活躍推進法に基づく協議会設置に係る概要説明、協議 資料No.3-1 佐渡市男女共同参画推進懇談会開催要綱改正（案） 資料No.3-2 佐渡市男女共同参画推進懇談会開催要綱改正新旧対照表（案） 資料No.4 「SADO みらい会議 2018」～「仕事」・「家庭」・「個人」の調和～企画書
傍聴人の数	—
備考	

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
企画課長	あいさつ
政策推進係主任	(1)平成 30 年度男女共同参画事業について 資料No.1 説明 平成 30 年度 事業内容及びスケジュールについて説明を行った。

A氏	クラウドソーシングという意味がわからない。
政策推進係主任	在宅で仕事ができるテレワークなどを推進しており、子育て世代でも在宅で仕事ができるよう講習会を昨年度より実施している継続事業です。
A氏	それはどこかで集まって、そういう働き方もあるという紹介をするということでしょうか。
政策推進係主任	そのとおりです。昨年度は3回実施しております。
政策推進係主任	(2)佐渡市男女共同参画推進懇談会参加者の公募について 資料No.2、資料No.2-1 説明 懇談会参加者の公募について説明を行った。
B氏	実際、どれだけの人が佐渡市ホームページ、市報さどを見ているのだろうか。
C氏	個別にあたってみたが、この世代であると仕事に就いている人がほとんどである。仕事を休んでまで参加するほどのものではないといきついでしまう。きちんと謝礼も出してもらえるなどの説明をするが、やはり仕事と天秤にかけたときに、そこまでして参加するものではないとなってしまう。しかしそこは、私たち世代から話すべきことであり、意見を出してほしくて誘うが、懇談会参加はハードルが高くなっている。そこをどうしていけばいいのかと思っている。また、私自身も参加して5年目になる。やっと5年が経ち、何をどのように見たら良いのかわかってきた。そういった点からもある程度、継続してやっていただける方も必要だと思う。今の条件で昼間、時間をつくれる人は限られてくる。かつ、魅力的ではないが、必要なことなんだと訴えられないと厳しい。
政策推進係主任	募集期間も短く、それに加え作文を書いて提出するというハードルも今回、応募がなかったことの原因のひとつではないかと思っている。しかし、期間を長くしても、C氏がおっしゃるとおり、関心がある人が少ないと感じている。
C氏	身近なものではあるが、そこを考えるとということにいきつかない部分が難しい。

D氏	<p>今年度に関しては、年度途中でもあり、今日これだけの議事を進行させてしまうので、今年度に関しては現状の8名で進めていくことが妥当ではないかと思う。来年度どうするかについては、C氏のおっしゃるとおり、応募してまで参加したいと思う人がどれだけいるのか疑問。逆に今いるメンバーで推薦できる方に声をかけていくのはどうか。私の場合、周りは子育てが終わっている人が多く、男女共同参画に興味関心がある人は多くない。それぞれの適正に合わせてうまくやっていくのが、本当の男女共同参画なのではないかと思っている。自分の周りにそういう方がいるかは難しいが、懇談会メンバーから紹介してもらうのもひとつの案であると思う。</p>
B氏	<p>ここにいる人から必要性を伝えていかなくは、公募の紙だけでは伝わっていかない。今、推薦という話も出ましたが、みなさんどうでしょう。</p>
政策推進係主任	<p>みなさんから、紹介していただける方がいたら、担当のほうで説明をさせていただくので、ぜひ紹介していただきたい。やはり、この時間帯での会議は厳しいとも感じている。実際、夜の開催となっても子育て世代は、夜に家を空けることも厳しい。本当に時間づくり、時間帯に苦慮するところではある。</p>
C氏	<p>それに、とっつきにくいというところもある。</p>
政策推進係主任	<p>今回、時間もなく佐渡市ホームページ、市報さどだけでの呼びかけであった。保育園、学校を通じて案内を配布することも検討している。お母さんたちの目にとまるように、次回は手を広げて呼びかけていきたい。</p>
B氏	<p>回覧等はどうなのか。</p>
課長補佐	<p>回覧も大丈夫です。先ほど、時間がなくなったというのも原因のひとつであるため、回覧を活用し通年受付しますと案内する方法もある。</p>
C氏	<p>事業所の方からも参加していただきたい。</p>
政策推進係主任	<p>要綱において、何人以内と定めている。また、佐渡市附属機関等の設置運営等に関する要綱で女性の割合も決まっております現状、厳しい状況である。しかし、紹介していただける方がいたら個人の方でも、事業所でも教えていただきたい。</p>

D氏	推薦に関しては、年度途中であるが今年を含めてか、来年度を見据えてか。
政策推進係主任	先ほど、D氏からもご意見があったように今年度は年度途中となってしまうため、今年度は8名体制とさせていただきたい。来年度に向けて、探していただくということでどうでしょうか。
B氏	みなさん、それでどうでしょうか。
全員	意義なし。
政策推進係主任	(3)女性活躍推進法に基づく協議会設置に係る概要説明、協議資料No.3、資料No.3-1、資料No.3-2 説明 女性活躍推進法に基づく、協議会設置について説明を行った。
C氏	懇談会=協議会で良いと思う。活躍推進になる時は、地域振興課が雇用の関係で必要な部署となってくると思うが、そのあたりはどう考えているか。
政策推進係主任	市役所内は地域振興課、総務課を含めることは可能である。新潟県で設置した協議会の構成員を参考にすると「新潟県」となっていることから、当市も「佐渡市」という構成員となり市全となる。
C氏	協議会になるということは、企画課だけではなく、佐渡市全体ということでいいか。
政策推進係主任	構成員は佐渡市となるので全体となる。
課長補佐	補足させていただくと、この懇談会は佐渡市の男女共同参画計画があり、それに基づいて開催させていただいている。当該計画が平成31年度までとなっており、平成32年度より改訂することとなる。改定の際は、みなさんへご相談させていただき作ることになります。また、法律に基づく協議会設置は初めてとなることだが、我々としても法律で求められたことでもあるので、当懇談会を協議会へスライドさせていただけたらと思っている。
B氏	協議会となるとワンランク上がったように感じる部分がある。

課長補佐	今後は法律に基づいたものになる。我々も県や他市町村の動きを見ながら切り替えていきたい。
B氏	協議会員になられる方はどうでしょうか。
A氏	女性の職業生活なのか、女性の就業生活なのか。資料No.3 と 3-1 では違う。
政策推進係主任	女性の職業生活が正しいです。訂正します。
A氏	法律に基づいて、懇談会を設置するというで位置付けるわけなので職業でいいのか。
政策推進係主任	その通りです。訂正します。
A氏	法律では協議会という名前を使うが、こちらは懇談会のまま協議会機能を持たせることで良いか。
課長補佐	はい。
A氏	それは、協議会という言葉を使わなくても大丈夫なのか。
課長補佐	はい。見なすということになります。
A氏	これで位置づいたから、協議会を設置しましたと公表するというで良いか。
政策推進係主任	はい。出来れば次の会議、年明け2月又は3月に正式に立ち上げましたとホームページにあげたいと思っている。
A氏	それによって、懇談会メンバーの募集要綱なり、公募に関する概要は変わることはあるか。
課長補佐	基本的には変わらないことで考えている。
A氏	先ほどもあった、職業に関わるように、市の一般職員又は市議会議員で

<p>課長補佐</p>	<p>はないものであればいいわけですね。事業所等に勤務する方で、女性の経営者であるとより良いということですね。なおかつ協議会的な意味も含めて、懇談会の質も良くなるということ。</p> <p>そのとおりです。今のみなさんのメンバーでも見なしてもらえることは間違いませんが、スタートした後、こういう趣旨のものであれば、こういった方が参加したほうがいいのではないかといい場合は、みなさま方から声をかけていただき、また次に向けて少しずつ増やしていきたいと思っている。</p>
<p>C氏</p>	<p>あとは正直、佐渡市は男女共同参画について、めちゃくちゃ遅れている。他の市町村では、男女共同参画課があり専門にやっているところもある。やはり、協議会であれば良いし、分科会というものもあってもいいのではないかと思う。佐渡市で考えるのであれば、子育てのことであれば子ども若者課、職業という地域振興課と色々なところとミックスした状態で考えていくことがベストであると思う。もちろんリーダーは企画課で良いと思うが。もう少し盛り上げる部分が強くなってくると関心を持つ人が増えてくるのではないか。議会を観ていても、男女共同参画と言っているのは荒井真理さんしかいない。荒井真理さんも1年を通して1回くらいしか言わない。その程度のもんと思われていると思うと、もう少し頑張ったほうがいいのではないか感じているので協議会設置は賛成です。</p>
<p>課長補佐</p>	<p>ありがとうございます。</p>
<p>B氏</p>	<p>先を見据えて協議会に移行していくということでよろしいでしょうか。</p>
<p>全員</p>	<p>異議なし。</p>
<p>政策推進係主任</p>	<p>(4)男女共同参画セミナー開催について 資料No.4 説明 「SADO 未来会議 2018」について説明を行った。</p>
<p>A氏</p>	<p>これは、平日の午後からですが、毎年、平日なのですか。</p>
<p>政策推進係主任</p>	<p>昨年は土日開催であった。今回、新潟県女性財団の方から平日開催を検討するよう指導があった。</p>

A氏	話を聞きたい方が参加することが一番大事であると思うが、昨年は何人程度、参加したのかわかりますか。
政策推進係主任	昨年は両日各定員 20 名で、各 20 名の方より申し込みがあった。A氏がおっしゃるとおり休日開催の方が参加できる方も多いかと思えます。
A氏	働いている方は、休んで参加してもらおうのですか。
政策推進係主任	企業の方は市からの依頼で、業務として参加できないかと考えています。
D氏	今から詳細を決めていくと思うが、例えば告知方法であるとか、募集人数であるとか。また、地域振興課が産業振興セミナーを開催している。あれと趣旨が外れてしまうのかもしれないが、会社に書面が送られてきて業務の一環として参加できる会社もある。もし、そういったルートを使えるのであれば、業務の一環とまでは言わないが、平日に仕事をしている方で、お子さんが保育園や学校に預けている時間帯であれば参加してもらうのは可能ではないか。男女共同参画からのお知らせという形でやれないか地域振興課に相談して打合せしてほしい。
政策推進係主任	D氏のおっしゃるとおり、地域振興課との合同開催を検討しました。しかし、趣旨のズレがありました。
D氏	ネットワークとしては、うまく使える人を呼び込めると思う。実際、募集人数の案はあるか。
政策推進係主任	会場からすると個人と企業を併せて、50 人弱であると思う。市報さど、佐渡市ホームページ、学校・保育園の文書配布を検討しています。
D氏	未就園児の託児は計画していますか。
政策推進係主任	そこは今回、計画していない。平日開催でもあるため厳しいと感じています。
D氏	保育園、学校に預けている時間帯であるから大丈夫だと思うが。
C氏	このスケジュールでは延長保育になるが。

政策推進係主任	当初、16時にお迎えに行くスケジュールを組んだが、セミナー時間が短いとのことで、現在のスケジュールとなった。例えば10時スタート、15時終わりではどうか。
D氏	お昼を食べる時間ももったいない。講師のスケジュールもあるのでこのままで良いと思う。以前、ハッピーパートナー企業制度についてお聞きしたが、もう一度説明をお願いしたい。
政策推進係主任	男女が共に働くために、こういった取り組みをしています。こういった制度がありますのなど、男女共同参画に取り組んでいる企業です。
D氏	佐渡には何社ありますか。
政策推進係主任	28社です。昨年、27社で1社増え、そのほとんどが建設業会社となっています。
D氏	ハッピーパートナーという名前であるが、ハッピーな会社ではないところもあるのでは。
政策推進係主任	ハッピーパートナー企業という名前について疑義が生じているとは聞いている。先日、それについてアンケートがあった。県からは、ハッピーパートナー企業登録だけでなく、にいがた子育て応援事業への登録も推進してほしいとされています。
D氏	もっと、他の企業が入ってくると良いと思います。
政策推進係主任	セミナーを通して、他の事業所へも制度紹介し推進していきたいと思っています。また、ハッピーパートナー企業28社のほか、地域振興課から紹介していただいた事業所に対し、セミナー参加を呼び掛けるとともに、制度について説明をします。
C氏	事業者と個人のマッチングが大きなポイントであると思う。事業者が参加していただかないとどうにもならないので、少しそこに力をいれてほしい。
政策推進係主任	わかりました。昨年度、実施した事業所アンケート結果をフィードバックできていない。佐渡市のホームページへは抜粋を掲載しました。また、地域振興課の産業セミナーを活用して結果のフィードバックをお願い

	してあります。
B氏	事業所アンケート結果ではハラスメントがないとなっているが、出てきていないだけ。見かたを間違えるとややこしくなる恐れがある。
政策推進係主任	佐渡市が実施した市民意識調査では、ハラスメントはあるとなっている。しかし、事業所ではないという結果となりました。事業所に相談している人がいないという結果であると思っている。
課長補佐	回答している方、事業所側が認識していないところもあるかと思う。
政策推進係主任	アンケート結果を見ていただくと、女性は仕事より家庭責任を強調する傾向があるという数値が高い。
C氏	それをどう捉えるのか。子どもが1人目、2人目と順に具合が悪くなり休むと、「休んでばかり」となりこういった回答になる。実態はこれだけではわからないが、個人調査では休みづらい、制度がないという結果が出ている。
政策推進係主任	今回、この結果をセミナーに活用したいと思っています。前回の会議でもあったように、課題が多いという意見がでた。今回、どこに絞ってセミナーをすると良いか悩みどころであります。今回、懇談会に初めて出席される方もいらっしゃるので改めて説明します。昨年、3,372事業所にアンケートを送付し、回答があったのは828事業所。回収率24.6%と低かった。低いなかでも、これだけの結果が得られました。
C氏	セミナーのなかに、この要素を含みたいということか。
政策推進係主任	そのとおりです。せっかくアンケートをとったものを活用できればと思っています。市役所内でも男女共同参画の意識が低いため、可能ならば職員も参加させたいと思っています。
C氏	結果で女性の負担が多いとわかっている。事業も個人もわかっているが、それをどうするかということに気づかない。制度はあるけど利用しにくいなど、どうしたら働きやすくなるかだと思う。佐渡市の考えていること、感じていることと、企業の感じていることは実際ズレていると思う。そのズレを解消するという点でも、ここが困っている、こういった理由で使いづらいなどという話ができれば良いと思う。

政策推進係主任	職場の働く空気が変わってくれたらと思う。制度整備だけではなく。また、アンケート結果では再雇用制度がない、検討中を含めると 65%と高い。
B氏	惜しい人材と気づいてくれるかどうか。
C氏	突きつけられる。子どもが小さいほど、いろいろある中で働いていく。病児保育ができたから良いでしょと思われているが、病気の子ども預けることの罪悪感を感じてしまう。そのなか、苦しい部分を超えてしまえば良いじゃないかと言われるが、そこが一番辛いところで、だから辞めてしまう。職場に迷惑をかけてしまう、自分も辛い。そういった意見を聞きたい。本音で話せる場があると良い。
政策推進係主任	そこは、ちゃいさんがみんなの声を引き出してほしい。どこに焦点を絞るかについては、ちゃいさんと相談して方向性を決めていきたい。
A氏	確認なのですが、50人程度を佐渡未来会議 2018 に集める。これについては、先ほどの話であると、ハッピーパートナー企業 28 社とプラスいくつかの企業に声をかけて、できれば出張等の扱いで出席してもらおう。こちらから声をかけて出席してもらおうということで良いですか。
政策推進係主任	はい。
A氏	公募という形ではないということでしょうか。
政策推進係主任	企業に対しては、職員の出席についてご配慮願います。という形にしたいと思っています。
A氏	何割程度までは言わず、配慮くらいで案内を出すという集め方で良いか。
政策推進係主任	先ほど、D氏がおっしゃった地域振興課がどういう形でやっているのかを確認させていただいた上で、勤務として出席していただけたらと思っています。
D氏	それはそれで良いと思います。その他に昨年度同様、告知文書があり、市からの案内のほか、これについて興味関心がある人を広く受け付けこ

	とも必要であると思います。
政策推進係主任	それについては、広くやっていきたいと思っております。
D氏	去年はチラシを配布しています。
政策推進係主任	今回も配布を考えています。配布に加え、お母さんたちの目にとまってほしいので学校、保育園を通じて配布したいと思っています。
A氏	一般公募するということが良いでしょうか。
政策推進係主任	させていただきます。
A氏	教員は参加しても大丈夫でしょうか。
課長補佐	改めて案内はさせていただかないが、こちらから案内するのは地域振興課のやり方を参考にさせていただきます。その他、公募は市報さど、回覧板などにより一般の女性と企業の方に、ぜひ参加してくださいという形にしたいと思っています。そこは、事業所の方が「これは良い」と思っただけであれば参加していただきたいです。日は決定しているため、早め早めに、いろいろな場面で周知していけたらと思っています。
A氏	一般公募ではなかなか教員は参加しない。配慮願いますというような文書があっても参加する人は少ない。子どもを置いて出張する教員は、なかなか参加しにくい状況にある。そのあたりに竿を刺さないと、これだけ公募、情報がたくさんある中では集まらないのではないかと。佐渡市ホームページ、市報さどといっても厳しいと感じている。小学校で配布する文書は1年間でもものすごい量。この間、お家の方から言われたのだが、「先生、そんなにたくさん紙をよこさないで。学校たよりも、学年たよりもいりません。」と言われた。1日5~6枚配るだけで10分はかかり、説明はしない。先ほど、学校の配布物はどうかとおっしゃっていたが、ナイスアイデアと思いがちであるか、なかなか厳しく、学校現場もいっぱいいっぱいである。募集といっても、そういう視点も検討していかないと、なんとなく全体的にやってるから良かったでは厳しい状況かと思う。もっと戦略を練っていく必要があると強く感じている。
C氏	チラシ効果は2%程度。ほとんど効果はなく、認識させる程度。

課長補佐	日は決まっているので、いかに長くやるかだと思っています。どんな方法があるか模索しながら、スタートをきらせていただきたい。
C氏	ぜひお願いしたいことがあります。保育士、学校の先生は産休中、育休中に、はぐりんずの活動に参加してくださる方が多い。そういう方にも参加していただけると、すごい良いなと思っている。
D氏	育休とかの保育士さんは多いのですか。
E氏	園によりますが、うちには1名産休を抱えています。若い方は2人目、3人目という方も多いです。有難いことではありますが、代替え職員が見つからず厳しい現状にあります。安心して、子どもを看てもらえない、職場の雰囲気もがらっと変わるので、そこが難しいところです。なかなか有資格者が見つからない現状があります。
D氏	先ほど、小学校の配布物が多いとお聞きしたが、保育園にありますか。
E氏	園内の様子、子どものつぶやきなど、普段どうしているか、日常を知りたいという意見が多かった。つぶやきや行事など、できる限り写真つきで配布するようにしている。それについては、厳しい意見は聞いていません。
政策推進係主任	学年たよりもいないという方がいるのですか。
A氏	そういう方もいる。一般チラシより興味は高いが、学校からの配布物で労力を割かれている現状がある。学校たより、学年たよりさえ読むのが大変というなかで、チラシを配布しても懸念はある。
政策推進係主任	周知方法については、もう少し視野を広げ検討します。
D氏	就農されている、子育て世代の女性はいいますか。そういう方にも出席してもらいたい。農協の組合員に若いお母さんで、農業を頑張っている方はいいますか。
F氏	います。
D氏	組合員たよりに入れてもらうことはできますか。

F氏	うちも状況は同じく、多いという声がある。
A氏	先ほど、回覧板という話もあったが。
C氏	回覧板は若い世代には不評。母屋だけ見てまわしてしまうため、若い世代の目にとまらない。
政策推進係主任	何が一番人の目につくのでしょうか。
D氏	予算の範囲内でやれる告知をすべてやってみてはどうでしょうか。
政策推進係主任	佐渡市ホームページ、広報誌、Facebook、LINE は必須だと思っています。
B氏	日報であれば情報提供を載せられる。
課長補佐	こちらからの、プレスリリースより周知してくれるとは思いますが。掲載するかどうかは各誌の判断となってしまいます。
C氏	経験から効果があったものは、新聞のお知らせ、繰り返しの佐渡テレビ、口コミ。
D氏	チラシの骨子ができるのは、いつ頃ですか。
政策推進係主任	7月17日に打合せを実施し、詳細が決まってから作りたいと思っています。8月中に作りあげたい。
課長補佐	9月以降、本格的に動きたいと思っています。
C氏	ちゃいさんは有名なので顔を出して集める方法も有ると思います。
D氏	昨年、参加された方は、また参加したいと思っています。
C氏	(5)その他 LGBTを今後やる可能性はありますか。今まで全くやってきていないので、今後やるのか、いつ頃やるか計画はありますか。
政策推進係主任	LGBTについては、そこに踏み込める段階にいるのか疑問があります

C氏	<p>が、LGBTの言葉を知らない人がいるので、用語を知ってもらう、認識してもらうところから始める必要があると思っています。</p> <p>用語を知らない人が多いので、セミナー等を活用し広める必要がある。実際、島内でもLGBTで苦しんでいる人がいる。しかし、とても口にはできることではないので、知らない人がいる。そういう方たちの面も考えて進めていく必要がある。男女共同参画は男尊女卑を無くすとかではなく、性別を超えて、一緒に同じ人間として、個性をもった人間としてというところを平らにしましょうというのが、男女共同参画だと思っている。だから、女だから、男だからとかいうことではなく当然、LGBTも当たり前のように入ってくるべきものだから、それは同時進行すべきである。みんな真っ平なんだと推進していかななくてはならないと思う。</p>
課長補佐	<p>啓発ポスター、チラシ、セミナーなどの取組が最初であると思っています。</p>
C氏	<p>セクシャルマイノリティについて、そういえば目につくところにあったというだけでも違うので、少しずつ今から始めていくと良いと思う。</p>
政策推進係主任	<p>セミナー等を活用し、パンフレットなどを配布するなど、用語を知ってもらうところから始めたいと思います。</p>